

黄八丈を継承する移住者たち

カフェたいむ人文フルーツレモンシ



【材料】20cm型

小麦粉…120g/砂糖…100g / 卵…6個 / レモン…1個(果汁100cc·皮) ※果汁が100ccなければ牛乳を足して100ccにする

【作り方】

- ① 粉はふるいにかけ、卵は白身・黄身に分けておく。
- ② 卵白は砂糖の半量を入れて泡立てておく。
- ③ 卵黄に残り半量の砂糖を少しずつ混ぜ、レモン果汁を加えて皮のざく切りも入れる。
- ④ ③に粉を入れ、泡立てた卵白を2回に分けて混ぜる。
- ⑤ 型に流して170℃で40分焼く。
- ⑥ 焼けたらひっくり返して冷ます。

※サラダ油を使わないヘルシーなレシピです。

※たいむのシフォンケーキは小麦粉と米粉を60gずつ合わせています。

※パッションシフォンは、レモンの代わりにパッションジャム30g、

牛乳100ccで作ります。

すフルーツレモンですが、 お菓子作りや料理にも 使えますので お試しください!





機織りは家でできる仕事

八丈島の人と結婚してスーパーで働いていましたが、子供が小学生になると帰りが早くなるので、寂しい思いをしているのじゃないかと心配になり、家でできる仕事がしたいと思うようになりました。それで親戚に相談して、機織り機を譲ってもらい織り方を教えていただきました。2008年から機織りをしています。

自分のペースで織れる

細かい仕事が好きなので、機織りの仕事は好きです。難しいのは下準備です。糸通しを間違えるとぜんぶやり直しになるので終わってからも再確認します。糸繰りは肩が凝りますね。最初は難しくて1反織るのに3ヶ月もかかりましたが、慣れたら1ヶ月で2反織っていたこともあります。子供たちが高校生や大学生の頃はがんばってたくさん織っていましたが、いまは家事の合間に好きなことをしながら1ヶ月に1反のペースで織っています。自分のペースで仕事ができるので、機織りは主婦にとって良い仕事だと思います。

ミス八丈島が着てくれた

わたしは華やかな色の黄八丈が好きですが、最近は黄八丈の黒が人気があり、注文があるので黒ばかり織っています。自分が織った黄八丈をミス八丈島が着てくれたことがあり、すごく嬉しかったです!黄八丈のインスタ(@sasaki_eldie)をやっているので、インスタの中でいろんな黄八丈を見ていていますが、偶然自分が織った黄八丈を見つけたときも嬉しかったです!良いコメントが付いていて感激しました。インスタに黄八丈を載せるときは、八丈島の伝統文化を載せているという誇らしい気持ちになります。

機織りが八丈島の人にしてくれた

八丈島が大好きです。八丈島は人が温かくて、人との距離が近いのでフィリピンと似ているところがあって、とても暮らしやすいです。ホスピタリティ(おもてなしの気持ち)があるところも似ています。黄八丈を織っていることで、外国人のわたしが島の人になれたような気持ちになることも嬉しいことです。



八丈島には早くから絹があったんです。絹がどこから来たかというと、本州ではシルクロードで朝鮮半島から入ってきたと考えられてますが、八丈島は黒潮が流れていて往復ができないでしょう。だから、わたしは黒潮とともに中国から伝わったと考えています。

中国の四川省に中国皇帝が着る黄色 を染める産地があるんです。この黄色と

地域おこし協力隊として八丈島へ着任 八丈町が募集した地域おこし協力隊の黄八丈担当として 2018年度に採用され、3年間、本場黄八丈の技術継承やPR 等に取り組みました。元々着物が好きで、懐石料理店の仲居 をしていた時に着付けを覚えました。着物に関する仕事をし たいと思い始めた頃に八丈町の地域おこし協力隊の募集を 知り、島暮らしに興味があったこともあり応募を決めました。 機織りの仕事は好きで、天職だと思っています。地域おこし協 力隊の任期満了後も八丈島で機織りを続けていて、一生黄 八丈を織っていくつもりです。 黄八丈の生産量は激減している

最盛期には年間1000反以上納品されていた本場黄八丈は 現在年間300反ほどに減少しています。織り子から黄八丈組 合に納品された反物や帯は卸問屋に送られ、問屋から小売 店に卸されます。本場黄八丈は小売店に並ぶとすぐに買い手 が付きます。反物の価格は安くありませんがすぐに売れるの です。需要が減っているから供給も減っているのではなく、 需要はあるが織り子の減少や高齢化等さまざまな理由で生 産量が減っています。本場黄八丈の現在の課題は生産量を 増やすことです。具体的には織り子一人ひとりの納品数を増 やすことと、織り子の人数を増やしていくことが必要です。

本場黄八丈を織りたい人の窓口を

私が地域おこし協力隊として採用される前、心配だったこと は「もし採用されなかったらどうやって黄八丈の織り子にな ればいいのか」ということでした。情報が全く得られず、地域 おこし協力隊として採用されなければ踏み出すのはなかな か難しかったと思います。今後も地域おこし協力隊ないし研 修制度のようなものを整備して、織り子になりたい人たちの 窓口を作っていきたいです。

伝統工芸士を目指して

機織りを始めてまだ5年ですが、伝統工芸士の資格を取りた いと考えており、そこを目標にがんばっています。黄八丈の仕 事は正直ものすごく大変ですが、やりがいがあります。特に来 島時から樫立地域のみなさんが温かく受け入れてくださっ たことで、より一層がんばろうという気持ちになり、ここまで やってこられました。自分にとって黄八丈はとても大切なもの です。自分が織っている限りは黄八丈はなくならないという 気持ちで織り続けていきます。



黄八丈の黄色は染色方法が同じです。 中国のあの辺にはコブナグサがありま すが、コブナグサで染色しているのは日 本では八丈島だけなんです。中国皇帝の 黄色と黄八丈の黄色が同じなのは不思 議なことですよね。

黄八丈がなぜ八丈島に生まれたかと いう要因は、ここに早くから絹があった からです。それはどういうことかというと、 木綿や麻には黄八丈の染料は染まらな いんですよ。絹があってはじめてこの色 が染まるんです。本州には藍染がありま すが、藍染は木綿でも麻でもなんでも染 まるんです。絹はもちろん染まりますけ どね。だから最近そのように考えるよう になったんです。

お話を聞いた人 黄八丈「めゆ工房」山下誉さん(82歳)





3月の移住者交流スペース

日時 3月19日(日) 13:00 - 17:00 (時間内出入り自由)

場所 おとこのひみつ基地(旧リードアズーロレストラン)

会費 無料 差し入れ歓迎!

内容 移住者の方が交流するためのスペースです。 簡単なお茶とお菓子をご用意しますので、ご挨拶 し合って新たな交流を広め、八丈島ぐらしを楽し いものにしてください!

> ※相談員(スタッフ)を置きますので、島ぐらしで わからないことなどをお気軽にご相談ください。 ※八丈島移住に興味がある観光客のご参加も 歓迎します!



移住のチュータ

移住7年目在宅ワーカーの島暮らしエッセイまんだ











移住のチュータは今号で終了します。ご愛読ありがとうござい ました。4月号からたかまつやよい先生の4コママンガ「みんな の流されて八丈島」がスタートします。どうぞお楽しみに!

2月の移住者交流会活動報告



八丈島千葉県人会発足会 2月10日(金)19:00~21:30

イーストサイド茶屋にて、千葉県人会(会長:大屋友紀雄さん)の発足会を行いまし た。大人12名・子供5名とご家族での参加もあり、和気あいあいとにぎやかな会にな りました。今回の発足会は都合でご参加できない方もいましたが、県人会の在籍は 20名ほどになり、次回開催を待ち望む声が上がっていました。

※千葉県人会へのご参加希望は、Twitter「八丈島千葉県人会」@chiba8joか、 メールでchiba8jo@gmail.com へお申し込みください。



移住者交流スペース「夜のお茶会」 2月24日(金)18:00~22:00

ボタニカル&カフェ DRACOにて、移住者交流スペースを開催しました。40名ほどの ご参加があり、自己紹介コーナーの後は、広い会場を移動しながら良い交流が行 われていました。今回はTwitterでの告知以外に、広報誌をご覧になっての新規ご参 加も複数ありました。仕事の都合で遅い時間にご来場された方々からは「少しの時 間でも参加したかった」との声をいただき、交流会への期待を感じました。今後も定 期開催していきますので、お気軽にご参加ください。

企画・編集:畑中 由子 デザイン:ハスネWebDesign

070-8310-7405 (営業時間 10 時~ 18 時)

8joiju@gmail.com MAIL

東京都八丈島八丈町三根 4906-3 (みんなのひみつ基地内)

https://hachijoiju.com/ URL

ADDRESS